

## ◇行事報告◇

### No. 24-57 JSME ジュニア会友 機械の日企画

「親子見学会 ～航空機の先進技術とモノづくりについて学び、将来を考えよう～」

部門企画委員会 網健行（関西大）、町田栄治（日本原電）、宮田学（デンソー）、小池上一（IHI）

将来を担うジュニア会友に、機械や工学、エネルギーに興味を持っていただくことを目的として、2024年8月7日（機械の日）に夏休み親子見学会を開催しました。本見学会は2020年を除き毎年開催しており、本年度は20回目の開催となります。今年はIHI 鶴ヶ島工場とIHI そらの未来館を訪問し、「航空機の先進技術とモノづくりについて学び、将来を考えよう」をテーマとして実施しました。今回は世田谷文学館との共催とし、JSME ジュニア会友から32名（保護者含む）が、世田谷文学館からは7名（引率者含む）の合計39名にご参加いただきました。

午前中に訪問したIHI 鶴ヶ島工場では、航空機用ジェットエンジンの整備の様子を見学しました。長時間運転されたジェットエンジンが工場に運び込まれて、分解、部品洗浄、検査、部品交換、再組立されて、作動試験へ進む前までの一連の工程を学びました。子供たちは整備の期間が思っていたよりも長いこと、回転体のバランス調整が大切なことなどを聞いて、その理由を質問していました。整備終了間近で組立がほぼ完了したジェットエンジンも2階から一望することができ、普段は飛行機の機体のカバーで見ることのできないジェットエンジンの姿を目の前にして、興味は尽きないようでした。また、機体の推進力を生みだしている部品の実物大テストピースを実際に手で持ってみて、その大きさと重量を体感しました。飛行機の翼を浮かせる実験を見て自由研究にしようかなと思った子供もいたようです。ボルト締結やコネクタ接続などの整備作業の体験コーナーでは、レンチの使い方を教わりながら順番にやってみて、整備作業そのものも印象に残ったものと思います。

午後は昼食後にバスで移動し、JR 昭島駅近くのIHI そらの未来館に向かいました。そらの未来館では、日本初のジェットエンジン「ネ20」をはじめ、最近のものまで、多くの歴代のジェットエンジンが展示されており、ジェットエンジン開発の歴史、種類、仕組みなどについて、クイズも交えて学びました。小学生には少し難しい部分もありましたが、実際のジェットエンジンの変遷の様子を目前で見ることができたのは、よい機会になりました。宇宙開発コーナーでは、イプシロンロケット（模型）やロケットエンジン用ターボポンプがあり、宇宙に関心を寄せる子供も多くいたようです。また、子供たちからは「ターボシャフトエンジンのプロペラ軸とエンジンの中心軸がずれているのはなぜですか？」というような鋭い質問もあり、説明者の方と真剣に会話されていたのは印象的でした。

参加していただいた子供たちには、見学会を題材にした自由研究作品の応募をお願いしました。優秀作品は、日本機械学会ホームページで紹介する予定ですので、是非ご覧ください。

最後に今回の見学会で大変お世話になりましたIHI 鶴ヶ島工場、IHI そらの未来館の方々に感謝申し上げます。また、猛暑の中、熱心に見学いただいた参加者の皆様に感謝いたします。



IHI 鶴ヶ島工場



IHI そらの未来館

